

大湾区情報 No. 44

グレーターベイエリア情報 発行：2022年9月27日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【2022 年中期グローバルユニコーン企業ランキング発表 大湾区から 62 社がランクイン】](#)

[【世界のオフショア人民元決済の 70%以上、香港で処理】](#)

[【広東省、八大消費拠点都市を育成・構築】](#)

[【2022 年中期グローバルユニコーン企業ランキング発表 大湾区から 62 社がランクイン】](#)



8月30日、広州市黄埔区と広州ハイテク産業開発区、広州市商務局、胡潤百富（Hurun Report）が共同で、2022年グローバルユニコーン企業CEO大会を広州で開催しました。

胡潤研究所が発表した「2022 年中期グローバルユニコーン企業ランキング」(以下、「ランキング」)によると、2022 年 6 月時点で世界のユニコーン企業の数は 1,312 社に達していることが分かりました。そのうち、米国は 625 社で、世界のユニコーン企業総数のほぼ半分を占めています。中国は 312 社で 2 位、そしてそのうち大湾区のユニコーン企業は計 62 社になっています。

注目すべきは、この半年間で広州で新たにユニコーン企業が 9 社増加したことです。また同日、Hurun Report は黄埔区および広州ハイテク区と協力し、大湾区に総投資額が 100 億人民元となるユニコーン基地を黄埔区に設置すると発表しました。

中国のトップ 10 のうち 3 社が大湾区企業

ユニコーン企業とは、10 億米ドル以上の価値を持つ未上場企業を指しています。ランキングによると、世界 48 カ国 259 都市に、合計 1,312 のユニコーン企業が分布していることがわかります。企業の平均年数は設立 8 年となり、ソフトウェアとサービス企業が 80%を占めており、物理的な製品を販売している企業は 20%に過ぎません。そして 52%が B2B 企業で、48%が消費者への直接販売となっています。また、世界のユニコーン企業の価値総額は 27.9 兆人民元です。

世界のユニコーン企業総数においては、フィンテック業界が 168 社で引き続きトップ、次いで e コマースの 127 社、ソフトウェア・サービスの 127 社となっています。また、世界的な低炭素化の流れの中で、新エネルギー産業は活況を呈しており、11 社増の 27 社のユニコーン企業がランクインしています。

大湾区からは合計 62 社がランクインし、総額は 1 兆 7,745 億人民元となりました。広州は計 19 社、そのうち黄埔区だけで文遠知行 (WeRide)、慧智微 (SMARTER MICRO)、如祺出行 (Ruqi Mobility)、奥動新能源 (Aulton)、粵芯半導體 (CanSemi) の 5 社がランクインしています。2021 年 12 月末に胡潤研究

所が発表した世界のユニコーン企業ランキングと比較すると、黄浦区からは半年で新たに **3** 社がランクインしました。

文遠知行、如祺出行、奥動新能源はいずれも自動車製造の新勢力ユニコーン企業で、黄浦区の新エネルギーとインテリジェント・コネクテッド産業の活発な発展を象徴しています。

グローバルユニコーン基地 広州に開設

会見では、**Hurun Report** が黄浦区および広州ハイテク区と協力し、大湾区でのユニコーン基地建設に投資することも発表されました。契約によると、このプロジェクトは **100** 億人民元を投資し、**Hurun Report** のトップ **500** ランキング、富豪ランキング、ユニコーン企業ランキングなどのデータを結集し、新世代情報技術やスマート製造などのハイテク産業チェーンを育成・科技転換プラットフォームを共同で構築し、ユニコーン企業の「発信地」を創り出します。

黄浦区、広州ハイテク区の責任者は、これらの区がイノベーションチェーンと産業チェーンの深い統合を推進しており、「スタートアップ企業—ハイテク企業—ガゼル企業—ユニコーン企業—**100** 億レベルのハイテク企業」の科技企業の段階的育成計画を発表し、ハイテク企業数が **2015** 年の **200** 社以上から **2021** 年の **2,300** 社と **8** 倍以上となり、数量では中国内の経済開発区中での **1** 位に輝いた、と述べました。

【世界のオフショア人民元決済の70%以上、香港で処理】



8月29日午前、香港特別行政区行政長官ジョン・リー（李家超）氏は、国家開発銀行の欧陽衛民銀行長と会談し、世界と香港のマクロ経済情勢について意見交換を行いました。ジョン・リー氏は、香港のオフショア人民元市場は近年活況を呈しており、オフショア人民元ビジネスの促進は香港政府の優先事項の一つであると強調しました。現在、世界のオフショア人民元決済の70%以上が香港で行われています。

欧陽衛民銀行長と国家開発銀行の代表を香港に迎え、ジョン・リー氏は、国家開発銀行が長年にわたり香港の債券市場、ストックコネクト、グリーンファイナンスの発展に積極的に支援、参加していることに謝意を表明しました。また、金融開発支援以外にも、国家開発銀行は香港国際空港の第三滑走路の建設や、香港初の海上液化天然ガス受入ターミナルプロジェクトへの融資を支援し、香港の経済発展に大きく寄与してきたと述べました。

ジョン・リー氏は、「国家第 14 次 5 年計画」が、香港が国際金融センターとしての地位を高め、グローバルなオフショア人民元ビジネスハブとしての機能を強化することをサポートしていると言及しました。現在、香港には中国本土以外で最大規模の 9,000 億人民元を超える人民元プールがあり、世界のオフショア人民元決済の 70%以上が香港で行われています。

「オフショア人民元ビジネスの促進は、香港政府の重要な優先事項の一つです。香港政府は、オフショア人民元流動性の増加、オフショア人民元商品の多様な発展の促進、オフショア市場における人民元金融インフラのさらなる改善など、様々な面で国家開発銀行と引き続き緊密に協力していくことを期待しています。また、政府は「一国二制度」の下、金融システムにおける香港独自の優位性を十分に発揮し、実体経済向け金融サービスの推進、人民元の国際化、金融市場の改革開放の深化における中国の目標に協力します。」とジョン・リー氏は述べました。

【広東省、八大消費拠点都市を育成・構築】



深圳市南山区太子湾地区のウォーターフロントのプロムナード沿いに総投資額約 100 億人民元となる巨大複合商業施設「K11 ECOAST」が誕生します。2024 年末の開業を目指し、大湾区のウォーターフロント沿いの新たな文化商業ランドマークとなるよう計画されています。

一方で、広州の二つめの「太古匯」とも言われる珠江スワイヤー商業プロジェクトが、聚龍湾エリアに上陸しました。この古い村落、文化的建築、工業遺跡など歴史的な模様を保持しながら、現代アートや国際的トレンドと融合し、広州にインターナショナルな商業ランドマークが加わることとなります。

広州が国際消費拠点都市の建設を牽引し、深圳が積極的に国際消費拠点都市を建設しており、ハイエンドで大規模な総合商業プロジェクトが次々と誘致されています。更に大型で高品質な複合商業施設は、大湾区における国際消費拠点の構築という広東省の取り組みに新たな勢いを与えるに違いありません。

先日、深圳で行われた「2022 広東省消費拠点都市特別イベント」のキックオフイベントでは、広東省が「1+1+6」の消費拠点都市パターンを構築し、広

州、深圳に加え、珠海、仏山、東莞、汕頭、湛江、韶関など 6 地域の消費拠点都市の建設を推進し、省の消費の品質と拡大を達成しようとしていると発表されました。

広州・深圳がリード 世界レベルの商業プロジェクトが続々と上陸

K11 の中国本土における最初のフラッグシッププロジェクトである K11 ECOAST は、総延床面積 228,500 平方メートルで、50 名を超える世界有数のアーティストや建築家によって設計され、中国で最も美しく影響力のあるウォーターフロント文化・芸術地区となることを目指しています。

広州では、大湾区初の免税店複合プロジェクト「広州北駅中旅免税店」も本格的に始動しています。総投資額は 136 億人民元で、2025 年の開業が計画されています。

現在、広州市荔湾区で建設中の聚龍湾商業プロジェクトは、国際的な商業ランドマークとなるプロジェクトを目指しています。珠江実業の高東旺董事長は、清代以来の広州十三行*の「一港独占貿易」の起源地として、聚龍湾地区は新時代の大湾区の広州・仏山都市圏の中核地区の一つであり、伝統の貿易史と脈々と受け継ぐビジネス DNA を兼ね備えています。スワイヤー（太古）プロパティーズと共同で、大湾区における新しい文化・商業ランドマークと、世界レベルのウォーターフロントの魅力あるアート地区を、両者の強みを活かして建設する、と語りました。

*広州十三行：清代の広州にて対外貿易を独占した貿易業者の総称

国際消費拠点都市政策のシニア専門家であり、商務部研究院流通及び消費研究所の副所長である関利欣氏は、国際消費拠点都市は現代の国際大都市の中核機能の一つで、消費資源の集積地であり、一つの国さらには世界の消費市場の高台として、さらに強力な消費の先導役、牽引役となっている、と見解を述べています。

多様化発展 地域消費の末端サービスを強化

「大湾区国際消費ハブプロジェクト」は、広東省で推進されている高品質貿易発展のための10大プロジェクトの1つとして、広州がその育成と建設を加速し、深圳が国際消費拠点都市になるために積極的に努力することを支援し、世界レベルの消費ランドマークとショッピングエリアを形成し、消費プラットフォームを多数育成し、珠海、仏山、東莞、汕頭、湛江、韶関の地域消費拠点都市建設を促進し、多くの実体商業支援プロジェクトの導入を加速することに焦点を合わせています。

先日「2022 広東省消費拠点都市特別イベント」が正式にスタートし、広州、深圳、珠海、汕頭、仏山、韶関、東莞、湛江の8大都市が、ブランド消費、プラットフォーム消費、ファーストショップ消費、免税、税金還付消費などをテーマに消費促進活動を行い、地域本土の消費ブランドの普及と育成、ビジネス、観光、文化、スポーツなどとのコラボによる消費の発展、新しい消費ランドマークの創造を目指すとしています。

消費拠点都市の建設を促進する過程では、都市と農村の消費構造も多くの研究者の注目の的となっています。中山大学地域開放及協力研究所の毛艶華所長は、広東省の農村・地方消費は近年急速に拡大しており、「国際消費拠点都市や地域消費拠点都市などの都市の規模効果により、都市と農村の消費を牽引し、都市消費のグレードアップと農村消費の安定成長を図る必要がある」と考えています。

「広東省は、国際的な視野に立ち、質の高い消費資源を集め、各都市の特徴を強調し、異なる発展を実現し、複数のチャンネルを通じて消費のアップグレードに適応する資源を導入し、グローバルに売買する消費供給ネットワークを拡大する一方、地場企業の異なる消費グループの多様なニーズを満たす高品質の製品およびサービスの供給レベルを向上させ、加速させる必要がある。新しい開発パターンの戦略的支柱を作る必要があります。」と関利欣氏は述べました。

【参考資料】

・ [2022 年中期グローバルユニコーン企業ランキング発表 大湾区から 62 社がランクイン](#)

・ [世界のオフショア人民元決済の 70%以上、香港で処理](#)

・ [広東省、八大消費拠点都市を育成・構築](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



最新動画：【大湾区発展計画の最新動向と成功事例】（全 8 回）

第 1 回 広東省の経済概況	YouTube	WeChat
第 2 回 大湾区の規模とイノベーション	YouTube	WeChat
第 3 回 国際科学技術イノベーション施設の整備状況と課題	YouTube	WeChat
第 4 回 イノベーション環境の整備化と現代化産業の構築	YouTube	WeChat
第 5 回 大湾区における成功事例とユニコーン企業の概況	YouTube	WeChat
第 6 回 大湾区の主な投資家	YouTube	WeChat
第 7 回 上場環境の整備と状況	YouTube	WeChat
最終回 大湾区の最新政策とビジネスチャンス	YouTube	WeChat

最新ニュースページで過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所

担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>